

# キャリアアクション通信

2024/11/1 進路指導部

## 令和 6 年度前半の取組

小山西高における教育活動の中心に据えられているキャリアアクション・プロジェクトについて、前期を終えての実施報告をいたします。大きな行事としては、夏休みに行われた一日体験学習において、在校生が中学生やその保護者の皆様に向けて、自分の取り組みについて話しました。ご来校いただいた多くの皆様からご好評の声をいただきました。

## 第 3 学年

1 学期には各生徒が目指している進路希望について研究し、夏休みの三者面談において希望の進路とその実現に至る道筋についてプレゼンテーションしました。2 学期に入り、大学・短大および専門学校の入試や就職試験を目指す生徒たちにとって、いよいよ勝負の時期となります。小論文や面接等、教員の指導を受けながら、全力で頑張っているところです。また 3 学期に本格化する一般選抜に向けて、入試科目、配点、日程などを熟考しながら受験計画を立て、学力向上に努めているところです。外部講師などによる「一般選抜対策プロジェクト」（全 7 回）などを通して、生徒自身が自らの進路実現に向けて、粘り強く取り組んでいます。

### ◆コミュニケーション・トレーニング

8月20日、26日

主に医療系・教育系・福祉系・心理系などを目指す生徒対象としたものに加え、入試における面接やグループディスカッションに関する基礎的な知識を身につけるためのコミュニケーション・トレーニングを実施しました。自分の考えを効果的に伝える方法や、他者の話に傾聴する重要性を学びました。

## 第 2 学年

### ◆大学見学 7月9日（火）

今年度は高大連携協定を締結している国際医療福祉大学、帝京大学に加えて3コースを追加し、5つのコースに分かれて実施しました。

Aコース 国際医療福祉大学

Bコース 帝京大学理工学部

Cコース 東洋大学・成蹊大学

Dコース 専修大学・武蔵大学

Eコース 獨協大学・文教大学



### ●生徒の声

「今回授業してくださった教授の方たち全員が分かりやすく、面白く授業をしてくださったのでとても充実した時間を過ごせました。」

「大学のことについて知らないことが多かったけれど今回の体験を通して大学のことをよく知り、どんなことが出来るのかを深く学ぶことが出来ました」



### ◆先輩の話 9月3日（火）

本校の卒業生 5 名（学生 4 名、社会人 1 名）をお迎えし、現在の仕事や生活の様子に加えて、自身の高校生活を振り返り、後輩に伝えたいことについてお話しいただきました。卒業してほんの数年しか経っていない先輩方だったため、生徒たちは身近な存在に感じられたのか熱心に耳を傾けている姿が印象的でした。



アンケート結果から、2 年生が挙げた「印象に残った先輩の言葉」をいくつか紹介いたします。

「お年寄りの皆さんからのお礼の言葉が聞けるとやりがいを感じるという言葉聞いて、やっぱりやりがいがあるというのは大切だと思っていました。」

「今できることを全力でやるという言葉が印象に残った。高校生活は一度しかなくて、卒業してやり残したことがあったとしても、過去には戻ることはできないので、今の生活を大切にしようと思った。」



## 第1学年

### 今年度後期の予定

1年生については、地域の小学生・保育園児・留学生など、校外の方々との交流が予定されています。

2年生については修学旅行を挟んで、大学の出前講義や動画の視聴なども活用して個人研究を進めます。1月に実施する学年別発表会に向けて学びを深めるだけでなく、いかにして効果的に伝えるかも考えていきます。2月には1・2学年合同の発表会も予定しています。

3年生についてはキャリアアクションプロジェクトにおける総仕上げの時期です。進路実現に向け、綿密な計画を立てて臨みましょう。進路決定者は卒業課題研究に取り組みます。最後まで課題の探究を続けて、皆さんが達成感を持って卒業式を迎えられることを願っています。

### 思桜祭において分野別発表 8/30（金）、31（土）

今年度の学校祭（思桜祭）における校内発表日および一般公開日に際して、1学年のキャリアアクション9分野それぞれに、趣向を凝らした展示・発表を実施しました。年間を通じておこなっている探究学習の中間発表の場として、保護者の方々を始め、地域の皆様にも多数ご来場いただき、全分野を回るクイズラリーも好評でした。

### 出前授業を受講 7/2(火)、8(月)、9(火)、10/8(火)

多数の外部講師をお迎えし、出前授業を実施しました。また、分野によっては直接大学に出向いて学びを深めました。今年度も多岐に渡り、多くの講師の先生方に授業等を実践していただきました。講義形式のものだけでなく、グループに分かれての討議、幼児や現役の先生方との交流など、普段の授業とは違った経験を積み、探究を深めることが出来ました。



分野	講師	テーマ
まちづくり	小山市まちづくり推進課 宇都宮大学地域デザイン科学部 石井大一郎 准教授	小山駅周辺のまちづくり 少子高齢化により過疎が進む地域 ～思川駅周辺の豊かな自然と共存できるまちづくり
ものづくり	帝京大学理工学部 小林 靖之 准教授 帝京大学理工学部 古川 文人 准教授 帝京大学理工学部 高橋 綾香 講師 など	太陽光発電が世界を救う コンピュータの高速化入門 宇宙用環境および宇宙機に使用される材料
医療	国際医療福祉大学 医療福祉学部 山本 康弘 教授 国際医療福祉大学 保健医療学部 前新 直志 教授	医療福祉入門講座 リハビリ入門講座
保育	白鷗大学教育学部 浅木 尚実 教授 子育てママと赤ちゃんとの交流会	保育の現状について 子育て中のお母さんとの交流会
栄養	和洋女子大学家政学部家政福祉学科 池谷 真梨子 助教 桐生大学医療保健学部栄養学科 許斐 亜紀 准教授	赤ちゃん食の世界 栄養とスポーツ
スポーツ	白鷗大学教育学部 山越 章平 講師	健康スポーツにおける課題と取り組み
情報	宇都宮大学共同教育学部 川島 芳昭 教授	情報モラルと情報化社会に生きる
国際	NGO「ディー・ヨ・フォーラム」 半田 好男 代表 宇都宮大学 国際学部国際学科 栗原 俊輔 准教授	国際分野と地域の課題解決 ～課題を発見、自分を生かし、社会に関わる 国際協力と世界のつながり
教育	宇都宮大学大学院 教育学研究科 小野瀬 善行 准教授 小野瀬 善行 准教授 + 大学院生	教育学でみなさんが学べること、みなさんに考えてほしいこと